

今年3回目の米利上げ

ポイント① 段階的利上げ継続の方針

9月25、26日開催のFOMC(米連邦公開市場委員会)では、米国の政策金利であるFF(フェデラルファンド)金利の目標値上限が2.00%から2.25%に引き上げられました。今回の利上げは6月に続いて今年3回目であり、金融市場で事前に予想されていました。

図1のFOMC参加者の経済見通しの中央値によれば、米国経済が当面堅調に推移する一方、インフレ率は2%近辺で安定し、利上げが加速しない見通しが示されました。これを受けて米国の国債利回りはやや低下しました。一方、米国株式市場では、長短金利差の縮小により利ざや縮小が懸念されて金融株が売られたことや、パウエルFRB(米連邦準備制度理事会)議長がFOMC後の記者会見で一部の資産価格が歴史的に見て高水準にあると述べたことから、高値警戒感が生じてやや下落しました。

ポイント② インフレ率に上昇停止の兆し

消費者物価指数や個人消費支出デフレーターによって示されるインフレ率は、図2に示されるように2017年半ば頃から緩やかに上昇しました。しかし、足元では商品価格など川上の価格の上昇が鈍っており、最終製品の価格に徐々に波及すると見られます。これにより消費者物価指数などのインフレ率はFOMC参加者の見通しが示すように、2%近辺で上昇が止まると予想されます。

ポイント③ 長短金利差の縮小

図3が示すように、米国の2年国債利回りは概ね政策金利と共に上昇してきました。一方、10年国債利回りは2年国債ほど大きくは上昇せず、両者の利回り格差は徐々に縮小しています。市場ではこうした短期と長期の金利差が縮小して逆転に至ると、経験的には米国の景気が悪化する傾向があると言われていました。FOMC参加者の一部にも長短金利差の縮小や逆転を警戒する見方があるようです。一方、現在は過去の利上げや長短金利差縮小の局面に比べて金利水準が全般的に低いため、景気への影響は小さいとの見方もあります。

いずれにせよ、長短金利差の縮小ないし逆転とその影響は、今年から来年にかけての米国および世界の金融市場で大きな注目点となるでしょう。

重要イベント

9月28日	米個人所得、個人消費支出、個人消費支出デフレーター(8月)
10月1日	米ISM(サプライマネジメント協会)製造業景況感指数(9月)
10月5日	米雇用統計(9月)

図1：FOMC参加者の経済見通し中央値

	予測時点	2018				中長期
		2018	2019	2020	2021	
実質GDP ¹	18年9月	3.1	2.5	2.0	1.8	1.8
	18年6月	2.8	2.4	2.0		1.8
失業率 ²	18年9月	3.7	3.5	3.5	3.7	4.5
	18年6月	3.6	3.5	3.5		4.5
個人消費支出デフレーター(総合) ¹	18年9月	2.1	2.0	2.1	2.1	2.0
	18年6月	2.1	2.1	2.1		2.0
個人消費支出デフレーター(コア) ^{1,3}	18年9月	2.0	2.1	2.1	2.1	
	18年6月	2.0	2.1	2.1		
FF金利 ⁴	18年9月	2.4	3.1	3.4	3.4	3.0
	18年6月	2.4	3.1	3.4		2.9

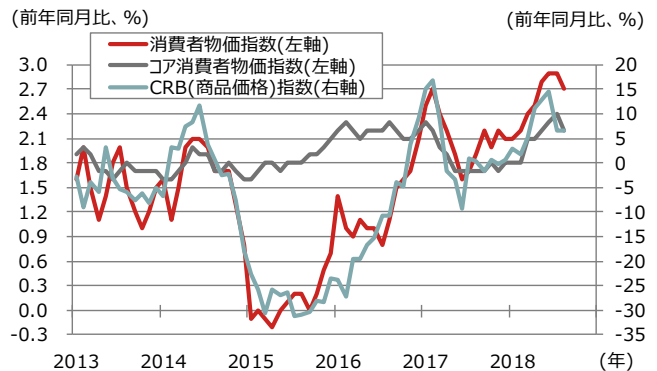
(注)1：第4四半期の前年同期比 2：第4四半期平均値

3：エネルギー、食料品を除く 4：年末または中長期の目標レンジ中央値

(出所)FRB資料より野村アセットマネジメント作成

図2：米消費者物価指数と商品価格指数

期間：2013年1月～2018年8月、月次

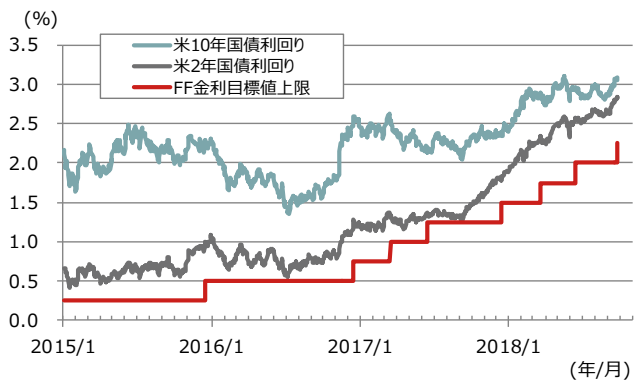


(注)コア消費者物価指数は、エネルギー・食料品を除く

(出所)Bloombergより野村アセットマネジメント作成

図3：米政策金利と国債利回り

期間：2015年1月1日～2018年9月26日、日次



(出所)Bloombergより野村アセットマネジメント作成

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。